

生涯学習・スポーツ分野

みなとタウンフォーラム 第8グループ

第8グループ[メンバー]

| | | |
|-------|--------|--------|
| 新井 彩花 | 大澤 康太郎 | 河内 ルミ |
| 高橋 美那 | 中村 豊 | 藤澤 信一郎 |
| 伏谷 承悟 | 古木 雅夫 | 松澤 佳郎 |
| 満生 達二 | 葭原 滋男 | |

※メンバーは五十音順



令和5(2023)年3月23日

提言にあたって

第8グループ【生涯学習・スポーツ分野】

私たち第8グループでは、生涯学習・スポーツ分野について、「生涯学習」「スポーツ」「図書館」の3つのテーマに分け、全8回にわたり、議論を重ねました。

近年、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を契機に、新しい生活様式が定着し、働き方、暮らし方、趣味など、人々のライフスタイルや価値観が多様化しています。スポーツ分野では、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されたことを機に、スポーツに対する興味や関心がより一層高まるとともに、コロナ禍を通じて健康に対する意識の高まりも見られています。また、スマートフォンなどの携帯情報端末の普及に合わせ、5GやVR技術の進化など、デジタル社会の進展は、区民生活に大きな変化をもたらしています。そうした社会変化も踏まえて、今回提言を取りまとめました。

生涯学習のテーマでは、多様な個性や価値観を尊重し、誰もが、いつでも、どこでも、自主的な学びができるまちをめざして、施策の方向性を考えました。

区民のニーズにあった学習内容を充実するだけでなく、学んだ事を生かすため、区民の「学びたい」と「教えた（得意分野を活用したい・学んだことを生かしたい）」をマッチングできる仕組みをつくるといった具体的な取組も考えました。

スポーツのテーマでは、誰もが自分にあったスポーツ活動に気軽に楽しく参加でき、トップアスリートとの交流やパラスポーツ体験などを通じてスポーツへの興味、関心が湧き、多様性の理解が広がるまちをめざし、取組を考えました。

まずは、スポーツに親しむ環境やきっかけをつくるのが大切です。スポーツの場の充

実やトップアスリートとの交流機会を拡充することで、より身近にスポーツを感じることができ、区民の健康につながると考えています。

図書館のテーマでは、本の貸し出しを行うだけでなく、幅広い世代が学び合い交流する場としての活用や電子書籍サービスの充実など、生涯を通じて知的好奇心や探求心があふれるまちをめざし、施策の方向性を考えました。

子どもから大人まで年齢や障害の有無に関わらず、多様な人々に「読書」に慣れ親しんでもらうため、おはなし会や朗読会の充実、新刊図書紹介や作家によるトークイベントの開催など、本の貸出しに留まらない、学びの場や情報発信拠点としての図書館サービスの拡充が必要です。

3つのテーマに共通する課題として、生涯学習講座、スポーツイベント、電子書籍サービスなど、区取組をより多くの人に知ってもらう仕組みが必要です。ホームページ等既存の発信方法だけでなく、SNSの活用など積極的な広報活動を進めていく取組が重要です。

さらに、広報活動も含め、私たちが掲げた将来像の実現に向けては、行政（港区）だけで取り組むことには限界があります。町会・自治会や市民団体、民間企業、大学など、多様な主体と連携し、取組を推進していくことが大切だと私たちは考えています。

この提言が、港区基本計画に反映され、生涯学習、スポーツ、図書館をより身近に感じ、区民が心身ともに健康で豊かさを享受できるまちになることを期待します。今回のみならず、タウンフォーラムをきっかけに、私たちも今後区の事業等へ意欲的に参加していきたいと思っています。

提言の体系

具体的な取組

| | |
|-----------------------|---|
| 【テーマ1】 生涯学習 | <ul style="list-style-type: none">• いつでも気軽に生涯学習施設を活用できるよう周知し、区民の参加をサポートしていく• 区民が学んだことを生かす場と交流の充実を図る• 国際色豊かで多様な区民のニーズにあった、生涯学習で取り組みたい学びを拡充していく |
| 【テーマ2】 スポーツ | <ul style="list-style-type: none">• 誰もが気軽に参加したいときに自分に合ったスポーツに親しむ環境やきっかけをつくり、健康増進につなげる• 文化の違いや国籍、年齢、障害の有無に関わらずスポーツを通じて多様な人の交流機会を創出する• 既にある港区のスポーツ活動をより多くの人に知ってもらうための仕掛けをつくる |
| 【テーマ3】 図書館 | <ul style="list-style-type: none">• 利用者の多様なニーズに応え、効率よく本を借りられる仕組みをつくる• 本の貸出しだけでなく、学びの場や情報の発信拠点として図書館サービスを拡充する• 電子書籍で取り扱うタイトルを拡充し、サービスの認知度の向上を図る• 子どもから高齢者・障害者など多様な人々に「読書」に慣れ親しんでもらうきっかけをつくる |

第1グループ
【街づくり分野】

第2グループ
【防災・生活安全分野】

第3グループ
【環境・リサイクル分野】

第4グループ
【地域・コミュニティ分野】

第5グループ
【国際化・文化分野】

第6グループ
【産業・観光分野】

第7グループ
【子育て・教育分野】

第8グループ
【生涯学習・スポーツ分野】

第9グループ
【福祉・保健分野】

生涯学習で学んだことを生かす場とニーズにあった学びの充実

1 計画最終年度末(令和8年度末)における港区の将来像

(1) 「多様な価値観を持つ港区民の誰もが、いつでも、どこでも気軽に自主的な学びができるまち」

(2) 「国際色豊かで多彩な人々がいる港区ならではの学びの場づくりができるまち」

多様な文化と人が共生する港区で、性別や国籍、年齢、障害の有無に関わらず、区民の多様な個性・価値観を尊重し、誰もが、いつでも、どこでも、気軽に、楽しく学習することができ、その成果を生かすことができるまちをめざす。

2 踏まえるべき社会変化

核家族化、働き方の変容・就労形態の変化、デジタル化、新型コロナウイルスの感染拡大の影響などにより、人々のライフスタイルが多様化するとともに、個人の価値観や趣味、興味も多様化している。

- 働き方の変容：「パラレルキャリア」「リスクリング」など、キャリアの考え方や価値観が大きく変化
- 核家族化・少子高齢化：子育て家庭を取り巻く状況や家族をめぐる変化
- 国際化・グローバル化：多くの外国人が暮らす街であり、異文化交流や他国の人たちとコミュニケーションをとる機会も増える
- ダイバーシティ&インクルージョン：多様な人々の個性が尊重される（ジェンダーレス・エイジレスなどといったボーダーレス）
- 人とのつながりの希薄化：近所付き合いの程度の低下、日常的な地域における交流の機会が減少
- デジタル化：Society5.0によるIoTやAI（人工知能）、ビッグデータなど新しい技術が登場し、講座の動画配信など、ICTの活用による生涯学習・社会教育も進められている

3 実現に向けた課題

(1) 区が実施する生涯学習に関する取組が区民に知られていない

- 生涯学習の取組そのものが実施されていることが知られていない
- どこで、どのようなイベントが行われているのか、参加方法なども知られていない
- 生涯学習講座の内容についてアンケートなどにより利用者の意見を十分に聞く必要がある
- 参加しやすい時間の配慮が足りていない

(2) 自分たちが学びたい分野やメニューが十分でない

- 生涯学習のテーマを充実させる必要がある（例 港区の地域、魅力を知ってもらう、障害者学習支援など）
- 年齢の垣根を越えた、世代間交流につながる学びを実施する必要がある
- 港区ならではの学びの場が充実していない（例 異文化交流や他国の人たちとコミュニケーションなど）
- 学びのメニューなどに関する区民ニーズの把握が十分でない

(3) 学んだことを生かす場が十分でない

- 生涯学習で学んだ知識やスキルを実践で生かす機会が充実していない

4 施策の方向性

(1) いつでも気軽に生涯学習施設を活用できるよう周知し、区民の参加をサポートしていく

(2) 区民が学んだことを生かす場と交流の充実を図る

(3) 国際色豊かで多様な区民のニーズにあった、生涯学習で取り組みたい学びを拡充していく

5 具体的な取組

(1) いつでも気軽に生涯学習施設を活用できるよう周知し、区民の参加をサポートしていく

①周知の充実

- イベント（生涯学習）を多様な人々に参加いただけるよう、世代に合わせて有効な手段（SNSやホームページ、デジタルサイネージなど）で周知をする
- マンション管理組合や町会・自治会と連携し、SNSなども活用し情報を幅広く発信する
- 実際に行われた盛況なイベント（生涯学習）の様子を動画などで紹介して周知する

②参加とサポートの仕掛け

- 気軽に生涯学習に参加できるよう相談体制の充実を図る（例 来館者におすすめのイベント情報を紹介するなど、施設でコンシェルジュする方を配置する）

(2) 区民が学んだことを生かす場と交流の充実を図る

①学んだことを生かす場の充実

- 受講に対して港区から修了証を与える
- 区民の「学びたい」と「教えたい（得意分野を活用したい・学んだことを生かしたい）」をマッチングできるような仕組みをつくる

②交流する場の充実

- オープンサロンのようなリアル（対面）で交流できる場を提供する（例 芝の家）誰でも気軽に参加できる学びのイベントを開催する

③デジタル活用

- リモート開催を設けるなど、より多くの方に参加いただけるようICTやデジタルを活用する

(3) 国際色豊かで多様な区民のニーズにあった、生涯学習で取り組みたい学びを拡充していく

①仕組みとしかけ

- 学びのニーズを把握するため、アンケートなどの調査を行う（例 ライフステージ別学びのニーズ調査など）

②講座・イベント（生涯学習）内容の充実

- 人気の講座は複数回開催する
- 小さい子どもから高齢者まで、実際に体験・学習する場を充実する
- 港区の魅力を知ることができる場、港区らしいテーマ・手法を用いた講座を実施する
ライフステージ別学習を行う（例 退職者を対象とした地域を知る学習、働いている方向けのリスキリングに関する学習）

③国際色豊かで多彩な人々がいる港区ならではの講座の充実

- 外国人に対する日本を知る（学ぶ）講座の充実
- 外国人等と連携した、生きた外国語にふれる機会の創出や講座の充実
- 港区の歴史や文化を学ぶ講座の充実

6 参画と協働の推進

(1) イベント(生涯学習)のテーマを区民と一緒に企画する

- アンケートを実施するなど、区民が受講したいテーマを把握し、区民が港区職員と共に企画する

(2) 他団体と連携し、幅広いテーマのイベント(生涯学習)を行う

- 大学や企業、社会教育団体、社会福祉協議会、港区体育協会、インターナショナルスクール、大使館などと連携し、学びの充実を図る

(3) 学びを生かす場の充実、仕組みの構築

- 生涯学習での学びの修了者や得意ジャンル（例 外国語）を持つ区民を登録し、教える側になる仕組みをつくることで、活躍の場を広げる（例 子ども食堂でのイベント（生涯学習）など）
- 気軽に参加できるように、特典を設ける（例：2人以上で参加するとクーポンをもらえるなど）

スポーツに親しみ多様な人々と交流する機会の充実

1 計画最終年度末(令和8年度末)における港区の将来像

(1)「より多くの人の生活にスポーツが溶け込み、誰もが、自分にあったスポーツ活動に気軽に楽しく参加でき、健康になれるまち」

(2)「トップアスリートとのスポーツ・パラスポーツの体験・交流を通して、スポーツへの興味、関心が湧き、多様性の理解が広がるまち」

年齢や性別を問わず誰にでも親しまれ、様々な形で人々の生活の中に溶け込み、心身の健康や生活の楽しみとしてスポーツに参加できるまちをめざす。また、スポーツへの興味、心身の健康・強化だけでなく、様々な人と同じルールのもとで共に楽しむことで、自国文化・国際文化の理解、SDGsの実現など、スポーツを通じて多様性の理解を広げることがめざす。

2 踏まえるべき社会変化

価値観や趣味の多様化、デジタル化に伴い、新たなルールやスタイルで行う競技をはじめ、様々な活動をスポーツと捉え、自身の健康増進など多様な関わり方や楽しみ方が求められている。

- ・価値観の多様化：働き方・暮らし方、趣味などライフスタイル・価値観が多様化している
- ・デジタル化：Society5.0によるIoTやAI（人工知能）、5GやVR技術など、デジタル技術が進化しており、選手のパフォーマンス向上などにつながっている
- ・国際化・グローバル化：ワールドカップやオリンピック・パラリンピックなどの世界大会を通じて、スポーツのファンが増えている

3 実現に向けた課題

(1)スポーツ活動する場が十分でない

- ・気軽にスポーツをする施設、グラウンドが少ない
- ・休日の学校施設（体育館や運動場）の更なる活用が必要である
- ・区主催のスポーツイベントは、種目が限定されている
- ・スポーツセンター事業の定員・時間帯が限定的である

(2) 誰もが気軽に参加できる事業が十分でない

- ジェンダーレス・エイジレスなど垣根を超えた多世代でスポーツに親しむ機会が少ない
- パラスポーツ・ゆるスポーツが十分に浸透していない
- 健康増進のための気軽に参加できるスポーツイベントが少ない
- 企業と連携した事業が十分でない

(3) 周知・啓発が十分でない

- 区の活動の周知が十分でない
- 区事業の認知度が低い
- 健康増進の効果や重要性について周知する必要がある
- 事業の時間的制約や対象年齢など、参加のハードルが高い

4 施策の方向性

(1) 誰もが気軽に参加したいときに自分に合ったスポーツに親しむ環境やきっかけをつくり、健康増進につなげる

(2) 文化の違いや国籍、年齢、障害の有無に関わらずスポーツを通じて多様な人の交流機会を創出する

(3) 既にある港区のスポーツ活動をより多くの人に知ってもらうための仕掛けをつくる

5 具体的な取組

(1) 誰もが気軽に参加したいときに自分に合ったスポーツに親しむ環境やきっかけをつくり、健康増進につなげる

- ① スポーツの場やスポーツ指導者の確保
 - 大規模商業施設などの民間施設と協働したスポーツイベントの開催
 - スポーツ大会のリモート開催
 - 地域のスポーツ推進委員や障害者スポーツの指導員をはじめとしたスポーツ指導者や、管理者（見守り）の育成、確保
- ② スポーツ活動に親しむきっかけづくり
 - 誰もが参加できるスポーツの場づくり
 - スポーツイベントに参加する特典など、イベントに参加したくなる仕組みをつくる
 - スポーツ教室の充実
 - 公共施設やスペースなどを活用したスポーツイベントの拡充（例 整備された道路でサイクリングを楽しむイベントなど）
- ③ スポーツを身近にし、健康増進につなげる
 - 小中学校プールや校庭でのスクール教室開催
 - スポーカル活動の支援の充実
- ④ 気軽に参加できる仕組みづくり
 - 参加のハードルを下げた仕組みづくり（例 日中の参加はできない方（小さいお子さんを持つ家庭や平日日中に働いている方）への夕方・夜の時間のスポーツイベントの開催や、初めての方が参加しやすい仕組みづくりなど）

(2) 文化の違いや国籍、年齢、障害の有無に関わらずスポーツを通じて多様な人の交流機会を創出する

- ① トップアスリートとの交流機会の充実
 - オリンピアン、パラリンピアン、プロスポーツ選手といったトップアスリートと交流機会の創出
 - トップアスリートの発掘を視野に入れた交流機会の創出
- ② 国籍を問わず多様な人が垣根を越えた交流機会を創出
 - パブリックビューイングの充実
 - 言語や文化を越えた国際交流につながるようなスポーツイベントの開催

③パラスポーツ/ゆるスポーツ/eスポーツ

- ・スポーツ体験会の充実
- ・乳幼児からシニアまで楽しめる運動機会の充実

(3) 既にある港区のスポーツ活動をより多くの人に知ってもらうための仕掛けをつくる

①積極的な広報活動

- ・区ホームページの充実などにより、区内のスポーツ関連情報を分かりやすくワンストップで見ることができる効果的な情報の発信
- ・SNSによる情報発信の充実
- ・ホームページやSNSなどで施設利用者やイベント参加者の体験談公開
- ・区だけでなく、他スポーツ団体が開催しているスポーツ関連活動のPR

6 参画と協働の推進

(1) 多様な主体の「協働」によるスポーツ大会の企画

- ・区民と区の双方がお互いに対等な立場で企画や準備、運営などに関わる多様な主体の「協働」によるスポーツ大会を企画する

(2) 地域のスポーツ活動への協力

- ・地域（スポーツサークル・町会・自治会・マンション管理組合など）で行われる様々なスポーツ活動へのサポートを行う

(3) 他団体との連携

- ・普段スポーツに関わらない団体も含め、様々な団体（港区スポーツふれあい文化健康財団、港区体育協会、社会福祉協議会、学校、企業など）と連携し、スポーツに触れる機会の充実を図る

1 計画最終年度末(令和8年度末)における港区の将来像

「図書館が学びの場や気軽に集える場として活用され、交流や情報の受発信拠点としてデジタル化が加速し、生涯を通じて知的好奇心が刺激されるまち」

本を読みたい、勉強したい区民が集い、学び合う場や幅広い世代の交流ができる場の創出をめざす。

また、図書館が多種多様な資料や情報が集積する拠点となるよう、電子図書の推進を進めるなど、生涯を通じて知的好奇心や探求心があふれるまちをめざす。

2 踏まえるべき社会変化

デジタル化、動画普及による紙媒体離れ、価値観の多様化など、社会環境が大きく変化し、図書館に対するニーズも複雑化・多様化している。

- デジタル化：携帯情報端末や公衆無線 LAN の普及により、インターネット環境が充実し、電子書籍の導入も進められている
- 読書離れ・活字離れ：スマートフォンやタブレット端末の普及、生活環境の変化や様々なメディアの発達・普及などを背景として「読書離れ」「活字離れ」が指摘されている
- 価値観の多様化：働き方・暮らし方、趣味などライフスタイル・価値観が多様化している

3 実現に向けた課題

(1) 図書館の魅力やサービスの周知が十分でない

- 利用できるサービス内容や仕組みの周知が十分でない
- 図書館の魅力や有用性、読書の良さ、関心を高めるための取組が十分でない
- これまで図書館を利用していなかった区民への利用拡大を図る施策が十分でない
- 外国人への対応が手薄い
- 学生がおしゃべりしながら勉強できるスペースが少ない
- 人気図書の貸出しの回転率が悪い

(2) 電子書籍の普及が進んでいない

- 電子書籍の認知度が低く、普及が十分でない
- 電子書籍で借りたい本が借りられない（待ち期間が長い）

(3) 活字離れ、読書離れが進んでいる

- 特に若い世代を中心に、動画コンテンツが普及したことにより、活字離れが起きている
- 読書よりもマンガ・ゲームへの風潮となっている

4 施策の方向性

- (1) 利用者の多様なニーズに応え、効率よく本を借りられる仕組みをつくる
- (2) 本の貸出しだけでなく、学びの場や情報の発信拠点として図書館サービスを拡充する
- (3) 電子書籍で取り扱うタイトルを拡充し、サービスの認知度の向上を図る
- (4) 子どもから高齢者・障害者など多様な人々に「読書」に慣れ親しんでもらうきっかけをつくる

5 具体的な取組

(1) 利用者の多様なニーズに応え、効率よく本を借りられる仕組みをつくる

- ①施設に関すること
 - 図書館の開館時間の見直し（働いている方や子育てしている方などが来館しやすい時間帯）
- ②サービスに関すること
 - 利用者の趣味や嗜好に合った書籍・コンテンツを豊富に取り揃える
 - 来館、貸出しなどの図書館利用に応じて特典が得られ読書への関心を向上させる仕組みづくり
 - 利用者の意見を踏まえた、効率的な本の貸出しができるルールづくり
- ③効率良く本を借りられる仕組み
 - 新刊や人気図書の充実などにより電子書籍サービスを更に推進する
 - 返却BOXの拡充などにより、本の貸出しを効率的に循環する

(2) 本の貸出しだけでなく、学びの場や情報の発信拠点として図書館サービスを拡充する

- ①イベントの充実や交流機会の提供
 - 新刊図書の紹介や作家によるトークイベントの開催
 - リモート参加可能なイベントの開催
 - 本のリサイクルの充実
 - 「何でも港区豆知識データ展示コーナー」の設置
- ②来館モチベーション向上のための工夫を行う
 - 図書館に併設しているカフェなどの魅力も併せて発信し、来館へのモチベーション向上と図書館の価値や魅力を高める工夫をする
- ③周知・啓発の充実
 - 港区立図書館のWEBサイトを活用した情報発信を強化する
 - 図書館機能やサービスを利用した人の感想や口コミを区のWEBサイトやSNSなどで発信する
 - マンション掲示板や図書館入り口に図書館サービスなどの情報を掲示し、図書館の魅力を発信する

(3) 電子書籍で取り扱うタイトルを拡充し、サービスの認知度の向上を図る

- ①多様な主体と連携した電子書籍の充実
 - ・電子書籍で取り扱うタイトルを拡充する
 - ・区内小中学校と電子書籍を活用した連携（電子書籍の普及）
- ②電子書籍のPR
 - ・電子書籍のサービス内容や予約方法などシステムの使用方法を分かりやすく伝える

(4) 子どもから高齢者・障害者など多様な人々に「読書」に慣れ親しんでもらうきっかけをつくる

- ①子どもや高齢者、障害者などの大人向けの読み聞かせ機会の充実
 - ・子ども向けにおはなし会を実施する
 - ・子どもによるおはなし会を行うなど、本に親しむ場をつくる
 - ・大人向け朗読会や録音図書を充実させる（例 学生による朗読の機会など）

6 参画と協働の推進

(1) 民間企業や大学などと連携し学びの場や交流の場の充実を図る

- ・多様な主体（専門図書館、大学、民間企業など）と連携し、利用者の利便性の向上を図ることでより身近に図書に触れる機会をつくる
- ・より親しまれる図書館を目指し、幅広く利用者ニーズを把握し、図書館サービスのより良い改善につなげていく

開催経過

| 回数 | 開催日時 | 内容 |
|-----|--------------------------------|---|
| 第1回 | 令和4年10月11日(火) 18時30分～20時30分 | <ul style="list-style-type: none">事務局紹介グループ会議の進め方について分野における現状と課題について検討テーマの選定リーダー、サブリーダーの選出 |
| 第2回 | 令和4年10月25日(火) 18時30分～20時30分 | <ul style="list-style-type: none">第1回グループ会議の振り返り検討テーマ「生涯学習」に関する議論 検討テーマの確認 将来像(めざすまちの姿)と社会変化の検討 課題の検討と方向性の確認 取組内容と区民参画の検討 |
| 第3回 | 令和4年11月8日(火) 18時30分～20時30分 | <ul style="list-style-type: none">第2回グループ会議の振り返り検討テーマ「スポーツ」に関する議論 検討テーマの確認 将来像(めざすまちの姿)と社会変化の検討 実現に向けた課題と施策の方向性 具体的な取組と区民参画の検討 |
| 第4回 | 令和4年11月15日(火) 18時30分～20時30分 | <ul style="list-style-type: none">第3回グループ会議の振り返り検討テーマ「図書館」に関する議論 将来像(めざすまちの姿)と社会変化の検討 実現に向けた課題と施策の方向性 具体的な取組と区民参画の検討 |
| 第5回 | 令和4年12月6日(火) 18時30分～20時30分 | <ul style="list-style-type: none">第2回～第4回の内容確認についてテーマ「生涯学習」のまとめ |
| 第6回 | 令和4年12月20日(火) 18時30分～20時30分 | <ul style="list-style-type: none">テーマ「スポーツ」のまとめテーマ「図書館」のまとめ |
| 第7回 | 令和5年1月10日(火) 18時30分～20時30分 | <ul style="list-style-type: none">提言書(案)について |
| 第8回 | 令和5年1月24日(火) 18時30分～20時30分 | <ul style="list-style-type: none">提言書案の調整について(テーマ1～3)その他資料の確認について 「提言にあたって」のページ 提言書発表スライド |